

平成 26 年度

「基礎学力調査」

— 結果の概要 —

平成 26 年 7 月
石川県教育委員会

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的.....	1
2	調査の対象等.....	1
	(1) 児童生徒に対する調査	
	(2) 教員に対する調査	
3	調査の日時.....	2
	[本書における留意事項].....	3
II	調査結果	4
1	教科に関する調査結果.....	4
	《小学校第4学年 国語》.....	4
	《小学校第4学年 算数》.....	6
	《小学校第6学年 社会》.....	8
	《小学校第6学年 理科》.....	10
	《中学校第3学年 社会》.....	12
	《中学校第3学年 理科》.....	14
	《中学校第3学年 英語》.....	16
2	質問紙調査結果.....	18
	《小学校第4学年》.....	18
	《小学校第6学年》.....	22
	《中学校第3学年》.....	24
	《小学校教員》.....	26
	《中学校教員》.....	28

I 調査の概要

1 調査の目的

児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力の定着状況，及び学習・生活状況について把握・分析し，学校における児童生徒への教育指導の改善を図る。併せて，教員の指導状況等を把握し，指導改善に役立てる。

2 調査の対象等

(1) 児童生徒に対する調査

○ 教科に関する調査

全公立小・中学校における次の学年の全児童生徒を対象に調査した。

ただし，調査の集計・分析については，各学校対象学年から無作為に1学級ずつを抽出して行った。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実 施 校 数	219 校	221 校	87 校
実施児童生徒数	9,786 人	10,165 人	10,328 人
対 象 教 科	国語・算数	社会・理科	社会・理科・英語
調査問題の範囲	小学校3年生までに学習した内容	小学校5年生までに学習した内容	中学校2年生までに学習した内容

○ 質問紙調査

教科に関する調査における集計・分析の抽出学級（各学校対象学年1学級）の児童生徒を対象に調査した。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施児童生徒数	4,717 人	5,191 人	2,713 人
調 査 の 内 容	学習に対する意識や家庭学習，生活習慣などの状況等に関する内容		

(2) 教員に対する調査

○ 質問紙調査

抽出した小・中学校における教員を対象に調査した。

区 分	小学校	中学校
実 施 校 数	74 校	31 校
実 施 教 員 数	1,113 人	656 人
調 査 の 内 容	授業における指導状況等に関する内容	

3 調査の日時

平成 26 年 4 月 21 日 (月)

区 分	時限	小学校第 4 学年	小学校第 6 学年	中学校第 3 学年
教科に関する調査	1 限	国語 (40 分)	社会 (40 分)	社会 (45 分)
	2 限	算数 (40 分)	理科 (40 分)	理科 (45 分)
	3 限			英語 (45 分)
質 問 紙 調 査	提出日までに、各学校の状況に応じて実施			

到達状況について

正答率の状況により，児童生徒の到達状況を次のように表記した。

正 答 率	「到達状況」を示す記号，用語
90%を上回っている場合	◎：良好である
80%～90%の場合	○：概ね良好である
70%～80%の場合	◇：基準に到達している
60%～70%の場合	▽：十分とはいえない
60%を下回っている場合	▼：不十分である

※ 正答率とは，全問題数に対する正答と準正答（内容的に正答に近く，概ね身に付けていると判断できる解答）を合計した数の割合のことをいう。

Ⅱ 調査結果

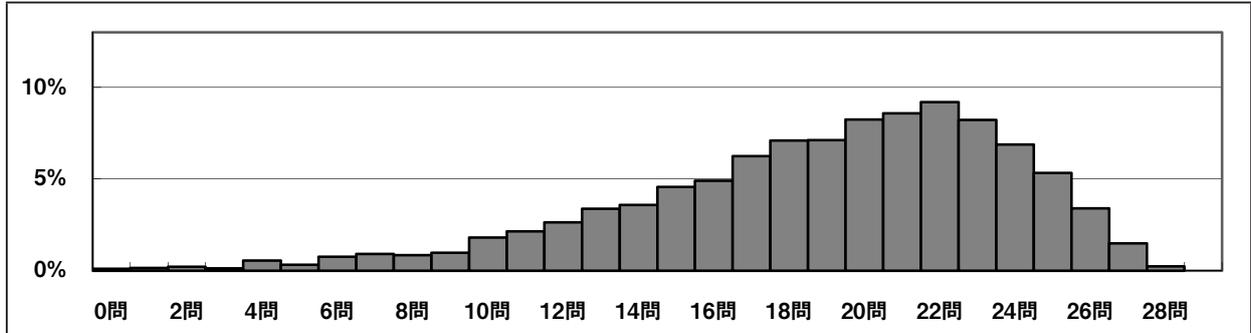
1 教科に関する調査結果

《小学校第4学年 国語》

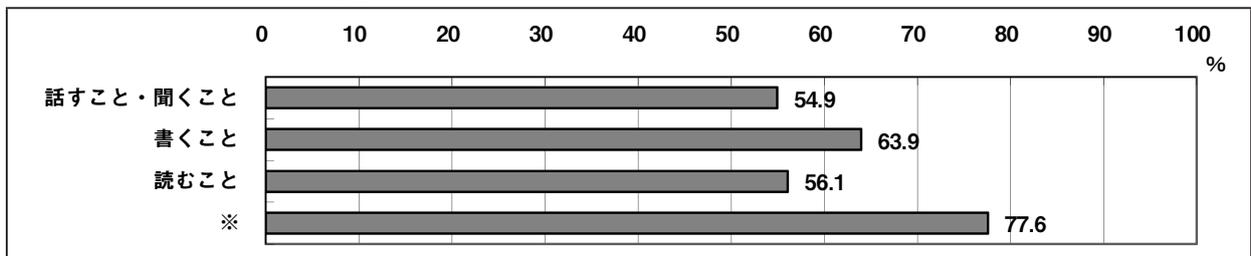
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,709人	67.3%	18.8問 / 28問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 六⑤	漢字の読み (そうだん)	94.8
2 二1ア	説明的文章の内容理解	94.4
3 三4	百科事典の使い方	93.9

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 二3	説明的文章の内容理解	9.5
2 一3	話し方の良さの理由	25.3
3 二4	目的に応じた引用・要約	30.9

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1 七②	ローマ字の読み (NIPPON)	16.2
2 一2(2)	質問の内容	14.5
3 一3	話し方の良さの理由	10.3

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【話すこと・聞くこと】

▼：相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら、筋道を立てて話すこと [一3]

【書くこと】

◇：字数などの条件に合わせて、適切な表現で書くこと [八3条件・表記]

▼：書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと [八1]

【読むこと】

▼：中心となる語や文を捉えて、段落相互の関係を考えて読むこと [二2・3]

▼：目的や必要に応じて、文章を引用したり要約したりすること [二4・三3]

【※伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

○：基本的な漢字を読んだり書いたりすること [六]

◇：主語と述語の関係を理解すること [四]

【各設問の正答率等】

小学校第4学年（国語）

設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点					割合（％）					
			国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能	正答率	正答	準正答	誤答	無解答	
一	1	話すこと 聞くこと	スピーチメモの工夫			○			67.4	67.4	0.0	32.2	0.4
	2(1)		質問の内容			○			79.3	79.3	0.0	19.7	1.1
	2(2)		質問の内容		○	○			47.7	36.2	11.5	37.9	14.5
	3		話し方の良さの理由		○	○			25.3	13.2	12.1	64.4	10.3
二	1ア	読むこと	説明的文章の内容理解				○		94.4	94.1	0.3	3.8	1.8
	1イ		説明的文章の内容理解				○		91.3	90.5	0.8	6.9	1.8
	2		段落相互の関係				○		40.4	40.4	0.0	58.4	1.3
	3		説明的文章の内容理解				○		9.5	7.0	2.5	82.9	7.6
	4		目的に応じた引用・要約		○		○		30.9	22.4	8.5	59.0	10.0
三	1	※	辞書の使い方（語句の意味）				○		66.3	66.3	0.0	31.8	1.9
	2		語句の使い方				○		88.7	88.7	0.0	9.7	1.6
	3	読むこと	説明的文章の内容理解				○		69.9	69.9	0.0	27.9	2.1
	4	※	百科事典の使い方				○		93.9	93.9	0.0	4.0	2.1
四	※	主語・述語				○		73.1	63.8	9.3	26.1	0.8	
五	※	筆順（氷）				○		66.7	66.7	0.0	29.8	3.4	
六	①	※	漢字の書き取り（家族）				○		67.1	67.1	0.0	31.2	1.7
	②		漢字の書き取り（美しい）				○		79.9	79.9	0.0	18.4	1.7
	③		漢字の書き取り（午前）				○		81.3	81.3	0.0	17.3	1.3
	④		漢字の読み（ひろう）				○		93.8	92.8	0.9	4.5	1.7
	⑤		漢字の読み（そうだん）				○		94.8	94.8	0.0	3.4	1.9
	⑥		漢字の読み（ひっしゃ）				○		74.0	74.0	0.0	20.2	5.8
七	①	※	ローマ字の読み（syakai）				○		70.3	70.2	0.1	20.0	9.7
	②		ローマ字の読み（NIPPON）				○		58.6	58.6	0.0	25.1	16.2
八	1	書くこと	書く上で必要な事柄を決める				○		36.3	36.3	0.0	59.2	4.5
	2		書こうとすることの中心を明確にする				○		69.7	69.7	0.0	23.8	6.5
	3条件		相手や目的に応じて適切に書く（条件）		○		○		73.3	68.6	4.7	17.2	9.5
	3内容		相手や目的に応じて適切に書く（内容）				○		63.9	63.9	0.0	26.6	9.5
	3表記		句読点を正しく使用し、敬体と常体に注意して書く（表記）				○	○	76.6	41.6	35.0	13.9	9.5

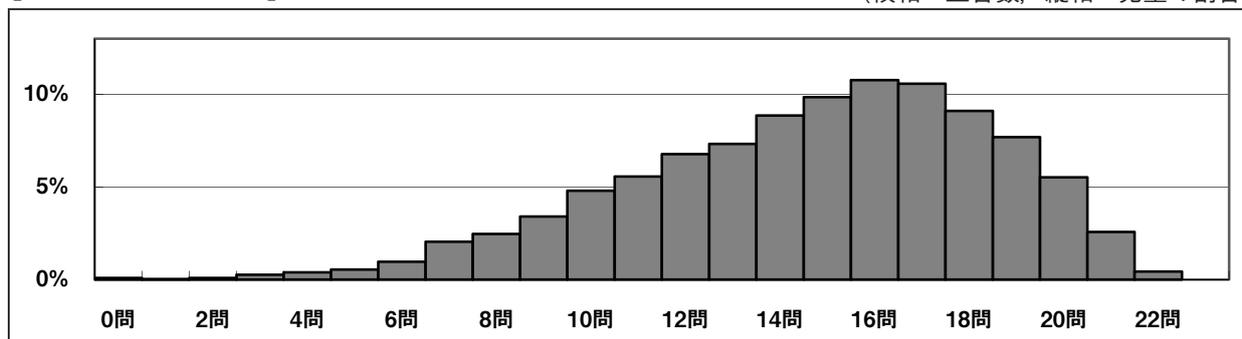
※伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

《小学校第4学年 算数》

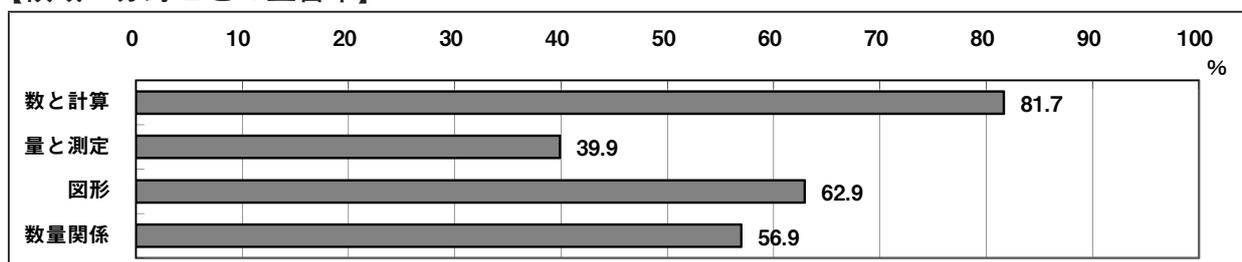
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,711人	66.7%	14.7問 / 22問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 (1)	繰り上がりのない加法計算	96.8
1 (2)	波及的繰り上がりのある加法計算	95.3
1 (5)	余りのある除法計算	93.6

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
3 (2)	長さの単位の関係	14.5
6 (1)	全体・容器・正味の重さの関係の理解	16.4
9	判断が正しい理由の説明	28.7

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
5 (1)	幾つの場合からのきまりの読み取り	7.7
9	判断が正しい理由の説明	7.6
5 (2)	きまりを用いた問題解決	5.3

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】 ◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

<p>【数と計算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎：基本的な四則計算をすること〔1〕 ▼：帰納的な考え方をを用いてきまりを読み取ること〔5(1)〕 <p>【量と測定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼：長さの単位の関係を理解すること〔3(2)〕 <p>【図形】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○：箱の構成要素に着目すること〔4(2)〕 ▼：円の半径と三角形の等辺を関連付けて考えること〔7〕 <p>【数量関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○：二つの数量の倍関係を表した図を理解すること〔2(2)〕 ▽：二次元表の人数を求める方法を説明すること〔8〕 ▼：判断が正しい理由を説明すること〔9〕
--

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第4学年（算数）

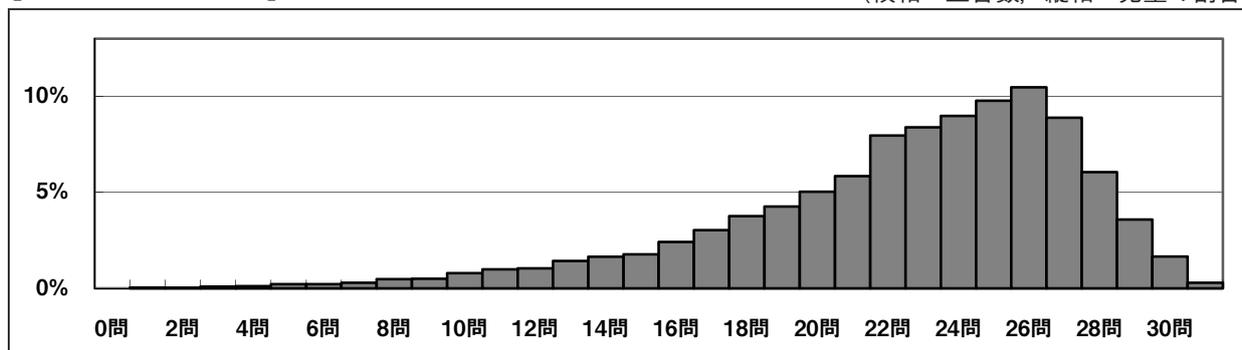
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）				
			算数への 関心・意欲・ 態度	数学的な考え方	数量や図形に ついての 技能	数量や図形に ついての 知識・理解	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
1	数と計算	繰り上がりのない加法計算			○						
		波及的繰り上がりのある加法計算			○		95.3	95.3	0.0	4.6	0.1
		波及的繰り下がりのある減法計算			○		89.3	89.3	0.0	10.4	0.3
		整数+小数（1/10の位）の加法計算			○		90.4	90.4	0.0	9.2	0.3
		余りのある除法計算			○		93.6	93.6	0.0	5.8	0.6
		整数-分数の減法計算			○		92.8	92.8	0.0	5.6	1.6
		3位数×2位数の筆算			○		86.8	86.8	0.0	11.4	1.8
2	数と計算	数の相対的な大きさ			○		81.8	81.8	0.0	17.9	0.3
	数量関係	二つの数量の倍関係の図による表現			○		82.1	82.1	0.0	17.4	0.4
	数と計算	分数の系列（数直線表示）			○		73.7	73.7	0.0	26.0	0.4
3	量と測定	長さの測定			○		73.6	73.6	0.0	26.1	0.3
		長さの単位の関係			○		14.5	14.5	0.0	85.1	0.5
		身近なかさの量感覚			○		55.0	55.0	0.0	44.8	0.2
4	数と計算	題意に即した余りの処理		○	○		65.2	65.2	0.0	32.9	1.9
	図形	箱の構成要素への着目			○		82.7	82.7	0.0	16.4	1.0
5	数と計算	幾つの場合からのきまりの読み取り	○	○			32.6	24.6	8.0	59.7	7.7
	数量関係	きまりを用いた問題解決			○		54.0	54.0	0.0	40.7	5.3
6	量と測定	全体・容器・正味の重さの関係の理解		○	○		16.4	16.3	0.1	78.6	5.0
	数量関係	全体・容器・正味の重さの関係の読み取り，不足分の重さの計算		○	○		56.7	56.7	0.0	39.3	4.0
7	図形	円の半径と三角形の等辺の関連付け		○	○		43.2	35.9	7.3	54.6	2.2
8	数量関係	二次元表の人数を求める方法の読み取り	○	○			63.1	63.1	0.0	33.5	3.4
9	数量関係	判断が正しい理由の説明	○	○			28.7	12.4	16.3	63.7	7.6

《小学校第6学年 社会》

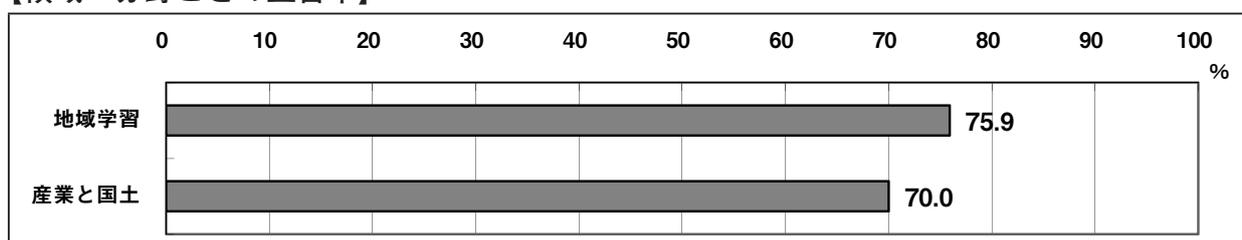
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
5,187人	72.5%	22.5問 / 31問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	4(1)レ スーパーマーケットで働く人の仕事 (レジ係)	97.1
2	1(1)① 石川県の自然や地形 (白山)	95.5
3	4(2) 消費者のねがいと店の工夫 (表示のねらい)	90.6

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	2(3) 日本の自然 (川の特徴)	19.5
2	5(4) 日本の自動車生産の特色	33.5
3	1(4) 石川県の概要 (伝統工芸)	37.0

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	2(1)② 世界の中の日本の国土 (六大陸)	18.8
2	6(3) 自然災害の防止と国民生活とのかかわり (防災マップ)	13.1
3	5(4) 日本の自動車生産の特色	12.6

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【地域学習】

- ：地図帳を用いて、石川県の自然や地形の様子について必要な情報を読み取ること〔1(1)〕
- ▼：廃棄物の処理と利用について、複数の資料から読み取ることや、考察したことを適切に表現すること〔3(2)(3)〕

【産業と国土】

- ：地図帳を用いて、世界の主な大陸や赤道の位置、及び日本の国土や位置関係について必要な情報を読み取ること〔2(1)(2)ABD〕
- ◇：自動車数と交通事故の件数の資料から、必要な情報を適切に読み取ること〔5(2)〕
- ▼：日本の川の特徴について、資料から読み取ったことを基に適切な言葉で説明すること〔2(3)〕
- ▼：日本の自動車生産の特色について、複数の資料を関連付けて考察したことを適切な言葉で表現すること〔5(4)〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（社会）

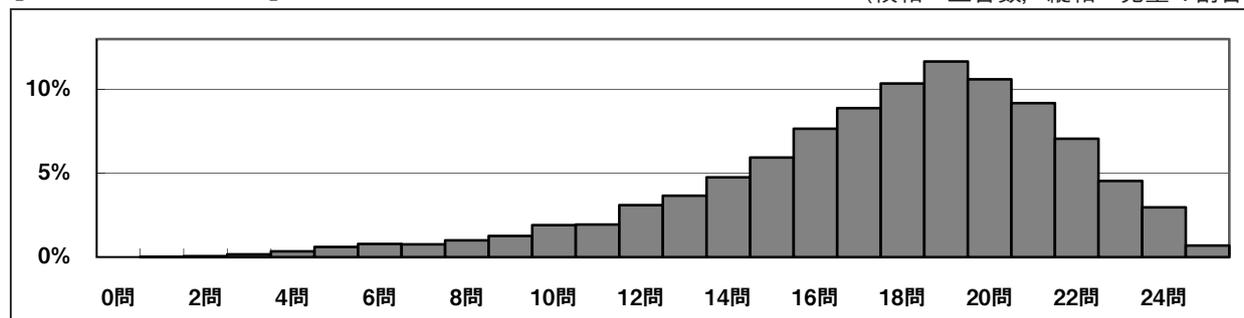
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）					
			社会的 事象への 関心・意欲・ 態度	社会的 な 思考・判断・ 表現	観 察・資料 活用 の技能	知 識・理 解 の技能	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答	
1	地域学習	(1)①	石川県の自然や地形（白山）			○						○
		(1)②	石川県の自然や地形（手取川）			○	○	88.6	88.6	0.0	10.5	1.0
		(1)③	石川県の自然や地形（能登地方）			○	○	83.2	83.2	0.0	15.2	1.6
		(2)	縮尺と実際の距離	○		○		73.3	73.3	0.0	24.5	2.1
		(3)	石川県の概要（土地利用），地図記号（田）			○	○	81.9	81.9	0.0	17.8	0.3
		(4)	石川県の概要（伝統工芸）	○	○			37.0	32.8	4.1	56.8	6.2
2	産業と国土	(1)①	世界の中の日本の国土（赤道）			○	○	85.0	85.0	0.0	14.7	0.3
		(1)②	世界の中の日本の国土（六大陸）	○		○		78.6	78.6	0.0	2.6	18.8
		(2) A	日本の位置関係（太平洋）			○	○	87.4	87.4	0.0	11.9	0.7
		(2) B	日本の位置関係（距離），日本の近隣の国（大韓民国）			○		89.1	89.1	0.0	9.7	1.2
		(2) C	日本の位置関係（方位），日本の近隣の国（フィリピン）			○		65.2	65.2	0.0	31.6	3.3
		(2) D	日本の領域（与那国島）			○	○	72.9	72.9	0.0	24.4	2.7
		(3)	日本の自然（川の特徴）		○	○		19.5	6.5	13.0	76.9	3.6
3	地域学習	(1)	廃棄物に関するきまりとのかかわり		○	○		77.7	77.7	0.0	21.8	0.5
		(2)	人口とごみの量の関係（グラフの読み取り）		○	○		57.4	22.4	35.0	38.5	4.1
		(3)	ごみを減らしよい環境にするための工夫（呼びかけ）	○	○			57.0	52.2	4.8	37.0	6.0
4	地域学習	(1)	スーパーマーケットで働く人の仕事（魚を切る人）			○		86.9	86.9	0.0	12.7	0.4
		(1)	スーパーマーケットで働く人の仕事（レジ係）			○		97.1	97.1	0.0	2.4	0.5
		(2)	消費者のねがいと店の工夫（表示のねらい）		○	○		90.6	90.6	0.0	8.8	0.6
		(3)	消費者のねがいと店の工夫（ノーマライゼーション）		○			60.8	54.5	6.3	31.1	8.1
5	産業と国土	(1)①	日本の都道府県の検索	○		○		83.6	83.6	0.0	13.5	2.9
		(1)②	自動車の組み立て工場と関連工場の仕事		○	○		49.9	49.9	0.0	48.7	1.4
		(1)③	工業生産を支える運輸の働き（自動車運搬船）		○	○		67.5	61.7	5.8	24.5	8.0
		(2) A	自動車数と交通事故の件数（グラフの読み取り①）			○		74.5	74.5	0.0	21.9	3.5
		(2) B	自動車数と交通事故の件数（グラフの読み取り②）			○		80.6	80.6	0.0	15.9	3.5
		(3)	自動車会社の工夫や努力（安全性）		○			87.8	87.8	0.0	9.0	3.2
		(4)	日本の自動車生産の特色		○	○		33.5	25.4	8.1	53.9	12.6
6	産業と国土	(1)②	森林資源の働き（水をたくわえる）			○		76.2	42.6	33.6	16.2	7.6
		(1)④	森林資源の働き（土砂くずれを防ぐ）			○		70.5	47.9	22.6	21.3	8.2
		(2)	森林資源の育成や保護に従事する人の工夫や努力（間ばつ）			○	○	80.2	80.2	0.0	14.1	5.7
		(3)	自然災害の防止と国民生活とのかかわり（防災マップ）	○	○			58.3	49.1	9.1	28.6	13.1

《小学校第6学年 理科》

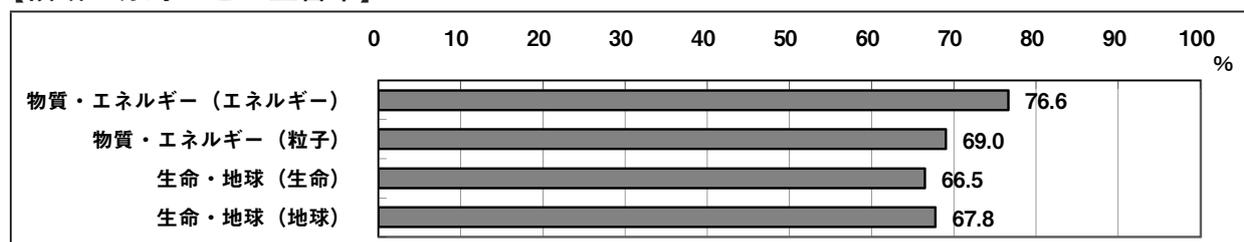
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
5,186人	70.0%	17.5問 / 25問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	3(1)②板 変形しても重さが変わらないことへの理解	90.7
2	4(2)① 雲画像を基にした天気の変化の予想	90.3
3	6(1)① おもりの重さと周期の関係	89.2

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	1(3) 種子に含まれるでんぷんのはたらき	32.9
2	3(2) 異なる物質で重さを一定にしたときの体積の違い	34.1
3	7(3) 沸騰した水の中から出る泡の正体	41.0

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	8(2) 月の見え方	19.4
2	1(1) 種子のつくり	5.6
3	6(2) 正確なデータを得るための実験方法	4.3

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【物質・エネルギー】

- ◎：物体が変形しても重さが変わらないことを理解すること〔3(1)②板〕
- ：条件を制御してふりこの周期を調べる実験を計画すること〔6(1)〕
- ：輪ゴムをねじった回数と車が動いた距離の関係を考察すること〔5(1)〕
- ▼：沸騰した水の中から出る泡の正体を理解すること〔7(3)〕

【生命・地球】

- ：雲画像を基にして天気の変化を予想し、その理由を説明すること〔4(2)〕
- ▽：関節について、その名称と筋肉の動きを理解すること〔2〕
- ▼：種子に含まれるでんぷんの働きを説明すること〔1(3)〕
- ▼：未観察の月を、記録した月の動きと関連付けて表すこと〔8(2)〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（理科）

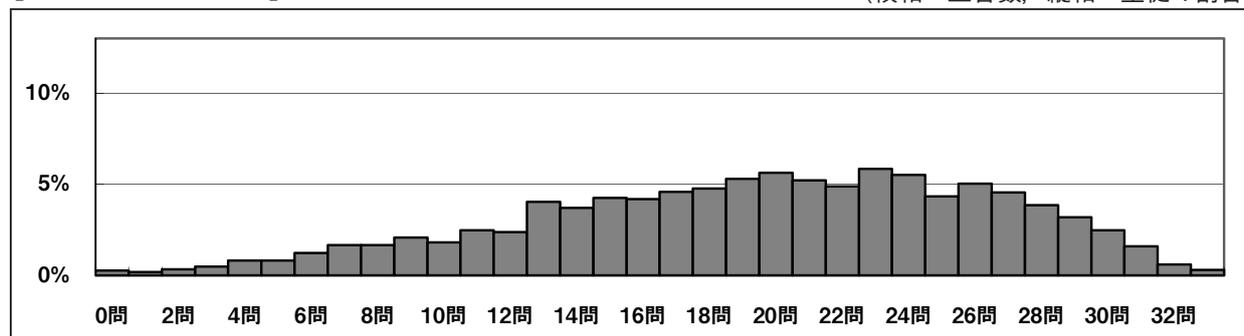
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）					
			関 心・ 意 欲・ 態 度	自 然 事 象 へ の 関 心	科 学 的 な 思 考 ・ 表 現	観 察 ・ 実 験 の 技 能	知 識 ・ 理 解	自 然 事 象 に つ い て の 理 解	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答
1	生命・地球 (生命)	種子のつくり	○			○	87.4	87.4				
		ヨウ素液の反応				○	○	74.5	51.3	23.2	25.0	0.4
		種子に含まれるでんぷんのはたらき			○			32.9	4.6	28.3	63.3	3.8
2	生命・地球 (生命)	関節				○	87.2	41.8	45.4	11.0	1.7	
		関節をのばしたときの筋肉の働き	○	○			50.3	50.3	0.0	49.6	0.1	
3	物質・エネルギー (粒子)	(1)① 台ばかりの使い方				○	○	83.0	79.5	3.5	15.8	1.2
		(1)②板 変形しても重さが変わらないことへの理解					○	90.7	90.7	0.0	9.1	0.1
		(1)②細分 変形しても重さが変わらないことへの理解					○	87.6	87.6	0.0	12.2	0.2
		(2) 異なる物質で重さを一定にしたときの体積の違い			○			34.1	34.1	0.0	65.7	0.1
4	生命・地球 (地球)	(1) 雲量と天気の関係				○	81.3	73.9	7.4	18.2	0.5	
		(2)① 雲画像を基にした天気の変化の予想			○	○	90.3	82.4	7.9	8.0	1.7	
		(2)② 天気の変化の予想の理由			○		72.3	18.4	53.9	25.7	1.9	
5	物質・エネルギー (エネルギー)	(1) 輪ゴムをねじった回数と動く距離の関係			○		80.6	80.6	0.1	19.3	0.1	
		(2) 動く距離を決める理由			○		73.0	73.0	0.0	26.9	0.1	
6	物質・エネルギー (エネルギー)	(1)① おもりの重さと周期の関係			○	○	89.2	89.2	0.0	10.4	0.4	
		(1)② ふりこの振れ幅と周期の関係			○	○	85.1	85.1	0.0	14.6	0.4	
		(1)③ ふりこの長さとの関係			○	○	80.6	80.6	0.0	19.0	0.4	
		(2) 正確なデータを得るための実験方法	○			○	51.4	47.5	3.9	44.4	4.3	
7	物質・エネルギー (粒子)	(1) 水の温度変化のグラフ化	○			○	62.3	62.3	0.1	35.1	2.6	
		(2) 沸騰					○	78.4	78.4	0.0	20.3	1.3
		(3) 沸騰した水の中から出る泡の正体					○	41.0	19.2	21.8	56.2	2.9
		(4) 沸騰している間の温度変化			○		○	74.9	56.3	18.5	22.4	2.7
8	生命・地球 (地球)	(1) 太陽と影の位置の関係			○	○	54.1	54.1	0.0	45.5	0.3	
		(2) 月の見え方			○	○	44.0	44.0	0.0	36.7	19.4	
		(3) 太陽と月の動き					○	64.6	64.6	0.0	35.1	0.3

《中学校第3学年 社会》

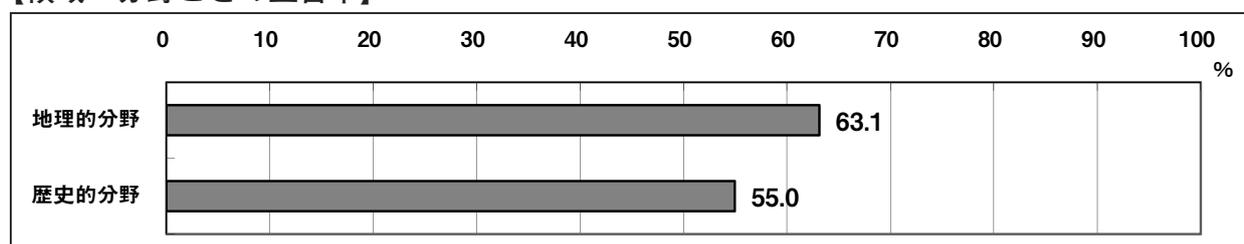
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,702人	58.9%	19.4問 / 33問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	2(2) 歴史上の人物 (聖徳太子)	83.3
2	1(1)B 地域区分 (オセアニア州)	78.9
3	1(1)A 六大陸 (南アメリカ大陸)	78.8

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	2(6) 資料の読解・表現 (壺田永年私財法の影響)	13.2
2	3(5) 資料の読解・表現 (分国法)	16.4
3	4(5) 資料の読解・表現 (促成栽培)	32.1

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	2(6) 資料の読解・表現 (壺田永年私財法の影響)	26.2
2	3(5) 資料の読解・表現 (分国法)	23.1
3	5(5) 複数の資料の関連付け (参勤交代)	21.2

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【地理的分野】

- ◇：世界の地理的事象について理解すること [1(1)(2)(3)(4)]
- ◇：複数の資料を関連付けて結論を導き出した過程について、例を参考にして説明すること [4(6)]
- ▼：日本の地域的特色を理解すること [4(2)(3)(4)]
- ▼：地理的事象について、複数の資料から考察したことを適切に表現すること [1(8), 4(5)]

【歴史的分野】

- ◇：古代における基本的な資料や人物、中国の国名について理解すること [2(1)(2)(3)]
- ▼：歴史的事象について、資料から読み取ったことを基に適切に説明すること [2(6), 3(5)]

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（社会）

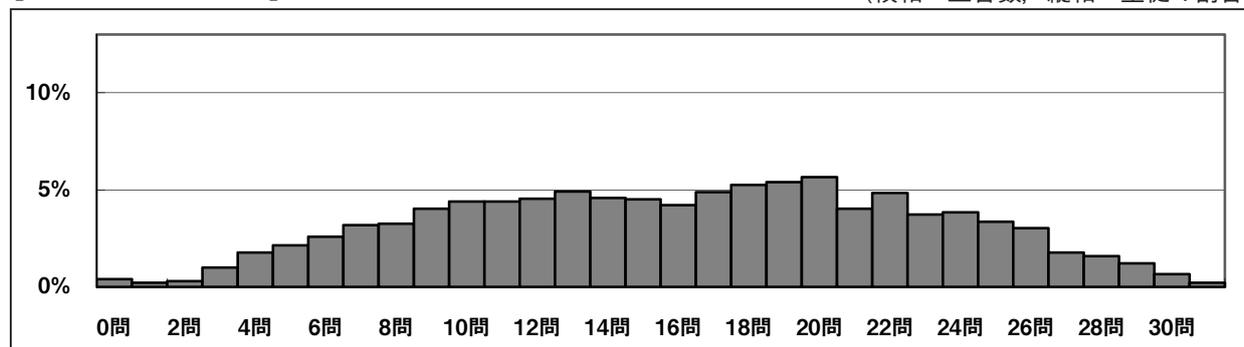
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）					
			社会的 事象への 関心・意欲・ 態度	社会的 な 思考・判断・ 表現	資 料 活 用 の 技 能	社 会 的 事 象 に つ い て の 知 識 ・ 理 解	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答	
1	地理的分野	(1) A	六大陸（南アメリカ大陸）			○						○
		(1) B	地域区分（オセアニア州）		○		○	78.9	78.9	0.0	19.4	1.7
		(2)	三大洋（大西洋）		○	○		69.8	69.8	0.0	28.2	2.0
		(3)	赤道の位置			○		76.7	76.7	0.0	23.0	0.3
		(4)	雨温図の読み取り（世界の気候）		○		○	70.5	70.5	0.0	29.1	0.4
		(5)	時差の計算		○	○		48.9	48.9	0.0	40.2	10.8
		(6)	資料の読解（日本の輸入品目）			○		77.1	2.9	74.1	18.2	4.7
		(7)	資料の読解（輸出品の変化）	○		○		73.6	7.3	66.3	22.1	4.4
(8)	複数の資料の関連付け（日本企業の進出）	○	○			52.9	42.3	10.6	30.5	16.6		
2	歴史的分野	(1)	古墳時代の考古資料（埴輪）			○		74.9	74.9	0.0	24.4	0.7
		(2)	歴史上の人物（聖徳太子）				○	83.3	83.3	0.0	12.2	4.5
		(3)	歴史上の事象（隋・唐）				○	74.4	74.4	0.0	25.1	0.5
		(4)	奈良時代の政治の特色		○		○	50.4	50.4	0.0	48.8	0.9
		(5)	国風文化の特色		○	○		62.9	62.9	0.0	36.3	0.8
		(6)	資料の読解・表現（壘田永年私財法の影響）		○	○		13.2	6.7	6.6	60.6	26.2
3	歴史的分野	(1)	歴史上の人物（源頼朝）				○	44.6	44.6	0.0	43.9	11.5
		(2)	年代の表し方（世紀）				○	64.2	64.2	0.0	32.8	3.0
		(3)	奉公の内容（命がけで戦う）		○		○	69.4	69.4	0.0	29.9	0.6
		(4)	歴史上の事象（承久の乱・応仁の乱）	○	○			52.4	52.4	0.0	47.0	0.6
		(5)	資料の読解・表現（分国法）		○	○		16.4	15.1	1.3	60.5	23.1
4	地理的分野	(1)	日本の地形（日本アルプスの山脈）				○	68.5	68.5	0.0	30.8	0.7
		(2)	日本周辺の海流（日本海流）				○	39.7	39.7	0.0	59.4	0.8
		(3)	日本の地形（三角州）			○	○	50.9	50.9	0.0	41.1	8.1
		(4)	雨温図の読み取り（日本の気候）		○		○	45.0	45.0	0.0	53.3	1.7
		(5)	資料の読解・表現（促成栽培）		○	○		32.1	17.9	14.2	52.3	15.6
		(6)①	複数の資料の関連付け（瀬戸内工業地域の特色）		○	○		76.1	10.3	65.8	11.8	12.1
		(6)②			○	○		70.9	14.7	56.3	16.0	13.1
5	歴史的分野	(1)	歴史上の人物（徳川家康）	○			○	76.5	76.5	0.0	17.5	6.0
		(2)	歴史上の事象（オランダ）				○	67.7	67.7	0.0	28.1	4.3
		(3)	歴史上の事象の地理的位置（浦賀）			○	○	55.7	55.7	0.0	42.7	1.5
		(4)	歴史上の事象（享保の改革）		○		○	53.9	53.9	0.0	44.0	2.1
		(5)	複数の資料の関連付け（参勤交代）	○			○	39.2	18.4	20.8	39.6	21.2
		(6)	時代の流れ（江戸時代）		○	○		35.3	35.3	0.0	63.1	1.5

《中学校第3学年 理科》

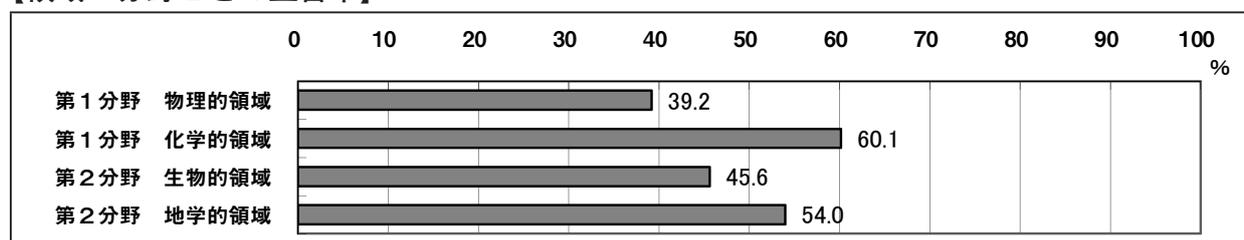
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,704 人	50.4%	16.1 問 / 32 問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	2(2) 気体のにおいをかく方法	96.8
2	6(1) 震度	88.6
3	1(3) 消化酵素の働きを調べる実験の方法	76.8

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	7(3)① 誘導電流が流れる向き	14.2
2	8(2)③ 植物の分類	18.0
3	4(3) 質量パーセント濃度の計算	18.0

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	4(3) 質量パーセント濃度の計算	35.7
2	6(4) 地震の被害	20.3
3	6(3)② 震源距離の計算	19.5

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【第1分野】

- ◎：発生した気体のにおいをかく方法を理解すること〔2(2)〕
- ▽：日常生活で見られる屈折現象を考察すること〔5(3)〕
- ▼：グラフを読み取り、質量パーセント濃度を求める式を立て、濃度を求めること〔4(3)〕
- ▼：コイルと磁石の相對運動によって生じる誘導電流の向きを考察すること〔7(3)①〕

【第2分野】

- ◇：グラフから気温と気圧の変化を読み取ること〔3(1)〕
- ▼：対照実験の必要性を考え、別の試験管を用意した理由を説明すること〔1(4)〕
- ▼：植物の分類について、分類の観点を明らかにして考察すること〔8(2)③〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

中学校第3学年(理科)

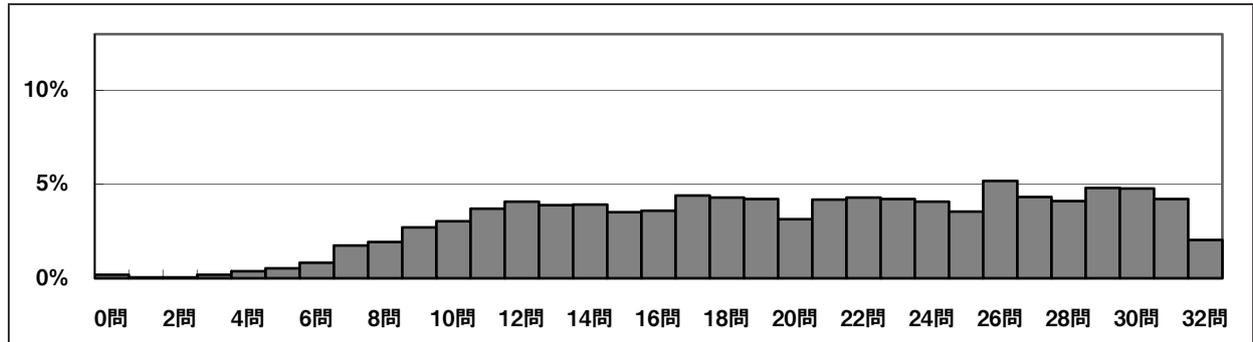
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合(%)					
			関心・ 意欲・ 態度	科学的な 思考・ 表現	観察・ 実験の 技能	自然事 象につ いての 知識・ 理解	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答	
1	第2分野 生物的領域	(1)	ベネジクト液の反応色			○						○
		(2)	ベネジクト液の使い方			○	○	39.2	38.6	0.6	50.4	10.3
		(3)	消化酵素の働きを調べる実験の方法			○		76.8	74.4	2.4	15.4	7.8
		(4)	対照実験の必要性		○	○		29.6	29.0	0.6	57.2	13.1
2	第1分野 化学的領域	(1)	化合				○	68.0	67.7	0.3	21.8	10.2
		(2)	気体のおいをかぐ方法			○		96.8	94.8	2.0	1.1	2.0
		(3)	物質の性質の違いを調べる実験方法			○		39.4	17.1	22.3	44.9	15.7
		(4)	化学変化の原子・分子モデル	○	○			61.2	59.4	1.8	32.2	6.6
		(5)	化学反応式				○	53.9	53.7	0.2	31.5	14.5
3	第2分野 地学的領域	(1)	グラフの読み取り			○		72.4	72.4	0.0	26.9	0.7
		(2)	ピストンを引いたときのフラスコ内の現象				○	45.0	43.0	2.0	41.9	13.2
		(3)	モデル実験と大気中の現象	○	○			57.3	57.3	0.0	41.7	1.0
4	第1分野 化学的領域	(1)	飽和水溶液				○	68.9	62.1	6.8	19.5	11.6
		(2)	食塩水の粒子のモデル				○	70.5	70.5	0.0	28.0	1.6
		(3)	質量パーセント濃度の計算		○	○		18.0	16.1	1.9	46.3	35.7
		(4)	食塩と硝酸カリウムの析出量	○	○			64.6	64.6	0.0	33.9	1.5
5	第1分野 物理的領域	(1)	入射角と屈折角の関係				○	54.8	54.8	0.0	44.3	0.9
		(2)	光の道すじの作図		○	○		25.5	25.5	0.0	64.5	10.0
		(3)	日常生活での屈折現象	○	○			64.9	64.9	0.0	34.0	1.1
6	第2分野 地学的領域	(1)	震度				○	88.6	88.6	0.0	10.3	1.1
		(2)	初期微動				○	56.0	46.9	9.1	36.3	7.7
		(3)①	震源距離が遠い理由		○			37.6	27.6	10.0	47.9	14.4
		(3)②	震源距離の計算		○			43.2	43.2	0.0	37.3	19.5
		(4)	地震の被害	○			○	31.6	26.7	4.9	48.1	20.3
7	第1分野 物理的領域	(1)	磁力線の作図				○	52.3	52.3	0.0	36.2	11.5
		(2)	コイルが作る磁界			○	○	34.7	34.7	0.0	63.2	2.1
		(3)①	誘導電流が流れる向き		○		○	14.2	14.2	0.0	83.5	2.3
		(3)②	磁界の変化と誘導電流		○			27.9	27.9	0.0	69.6	2.4
8	第2分野 生物的領域	(1)	単子葉類の葉脈の形状				○	55.5	55.4	0.1	28.4	16.1
		(2)①	種子植物の分類				○	48.1	43.1	5.0	38.0	13.9
		(2)②	双子葉類の根・茎・葉の形状				○	59.8	59.8	0.0	36.6	3.7
		(2)③	植物の分類		○		○	18.0	17.6	0.4	67.1	14.9

《中学校第3学年 英語》

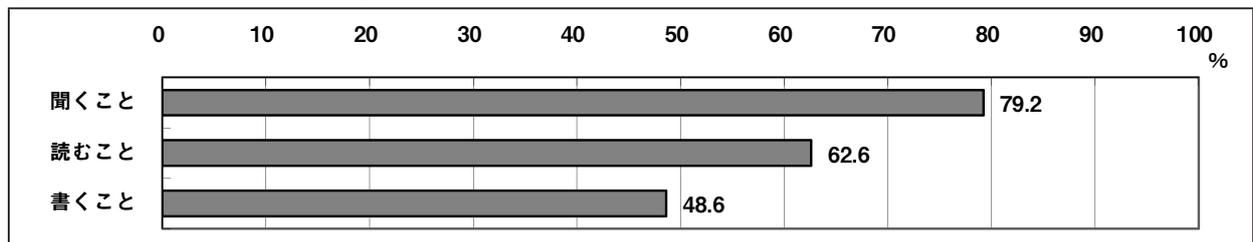
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,704 人	62.6%	20.0 問 / 32 問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 No. 1	短い英文の内容 (好きなこと) の聞き取り	99.3
4(1)	人称代名詞 (主格) を用いた英文の理解	93.3
1 No. 2	短い英文の内容 (登校手段) の聞き取り	93.3

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
10	まとまりのある英文を書くこと	30.3
4(2)	一般動詞を用いた文の内容に対する応答の仕方の理解	31.4
8(3)	話の詳細な情報の読み取り	33.4

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
8(3)	話の詳細な情報の読み取り	33.6
6(2)	言語の使用場面・働き (気持ちを伝える) に応じた筆記	21.0
10	まとまりのある英文を書くこと	19.7

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

[聞くこと]

- ◎：短い英文とその内容に関する質問を正しく聞き取ること [1]
- ◇：情報を整理しながら, 内容の要点を適切に聞き取ること [3]

[読むこと]

- ◇：全体の概要を適切に読み取ること [7]
- ▼：情報を整理しながら, 意向や大切な部分を適切に読み取ること [8]

[書くこと]

- ▼：語順や語形に気を付けながら, 場面や状況に応じて正しく書くこと [5, 9]
- ▼：自分の考えや気持ちなどが伝わるよう, まとまりのある英文を書くこと [10]

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（英語）

設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）				
			の 関心・ 意欲・ 態度 への	外国 語表現 の能力	外国 語理解 の能力	言語 や文化 について の 知識・ 理解	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
1	聞くこと	No. 1			○						
		No. 2			○		93.3	93.3	0.0	6.5	0.2
		No. 3			○		92.7	92.7	0.0	7.1	0.2
2	聞くこと	No. 1			○		78.6	78.6	0.0	21.1	0.3
		No. 2			○		64.3	64.3	0.0	35.2	0.5
		No. 3			○		77.0	77.0	0.0	22.5	0.5
		No. 4			○		68.1	68.1	0.0	31.3	0.6
3	聞くこと	No. 1			○		87.2	81.1	6.1	12.0	0.8
		No. 2			○		88.1	85.8	2.3	8.0	3.9
		No. 3			○		43.8	43.8	0.0	53.3	2.8
4	読むこと	(1)			○	○	93.3	93.3	0.0	6.3	0.4
		(2)			○	○	31.4	31.4	0.0	68.2	0.4
		(3)			○	○	64.8	64.8	0.0	34.7	0.6
		(4)			○	○	77.4	77.4	0.0	22.1	0.5
		(5)			○	○	75.7	75.7	0.0	23.6	0.7
		(6)			○	○	66.1	66.1	0.0	33.2	0.8
5	書くこと	(1)		○		○	55.0	50.1	5.0	43.2	1.7
		(2)		○		○	76.1	72.7	3.4	22.2	1.7
		(3)		○		○	38.2	36.9	1.4	58.7	3.1
		(4)		○		○	33.5	31.5	2.1	63.2	3.3
		(5)		○		○	65.7	64.5	1.2	31.4	3.0
6	書くこと	(1)	○	○			58.5	12.6	45.9	27.4	14.1
		(2)	○	○			37.7	31.8	5.9	41.3	21.0
		(3)	○	○			50.4	23.0	27.5	32.9	16.7
7	読むこと			○		75.1	75.1	0.0	24.0	0.9	
8	読むこと	(1)			○		56.0	55.9	0.1	41.6	2.4
		(2)			○		52.9	49.8	3.1	32.0	15.1
		(3)			○		33.4	12.8	20.6	33.0	33.6
9	書くこと	(1)		○		○	53.6	51.1	2.5	37.9	8.5
		(2)		○		○	36.1	31.0	5.1	44.7	19.2
		(3)		○		○	48.3	35.0	13.3	37.8	13.9
10	書くこと		○	○		30.3	6.1	24.2	50.0	19.7	

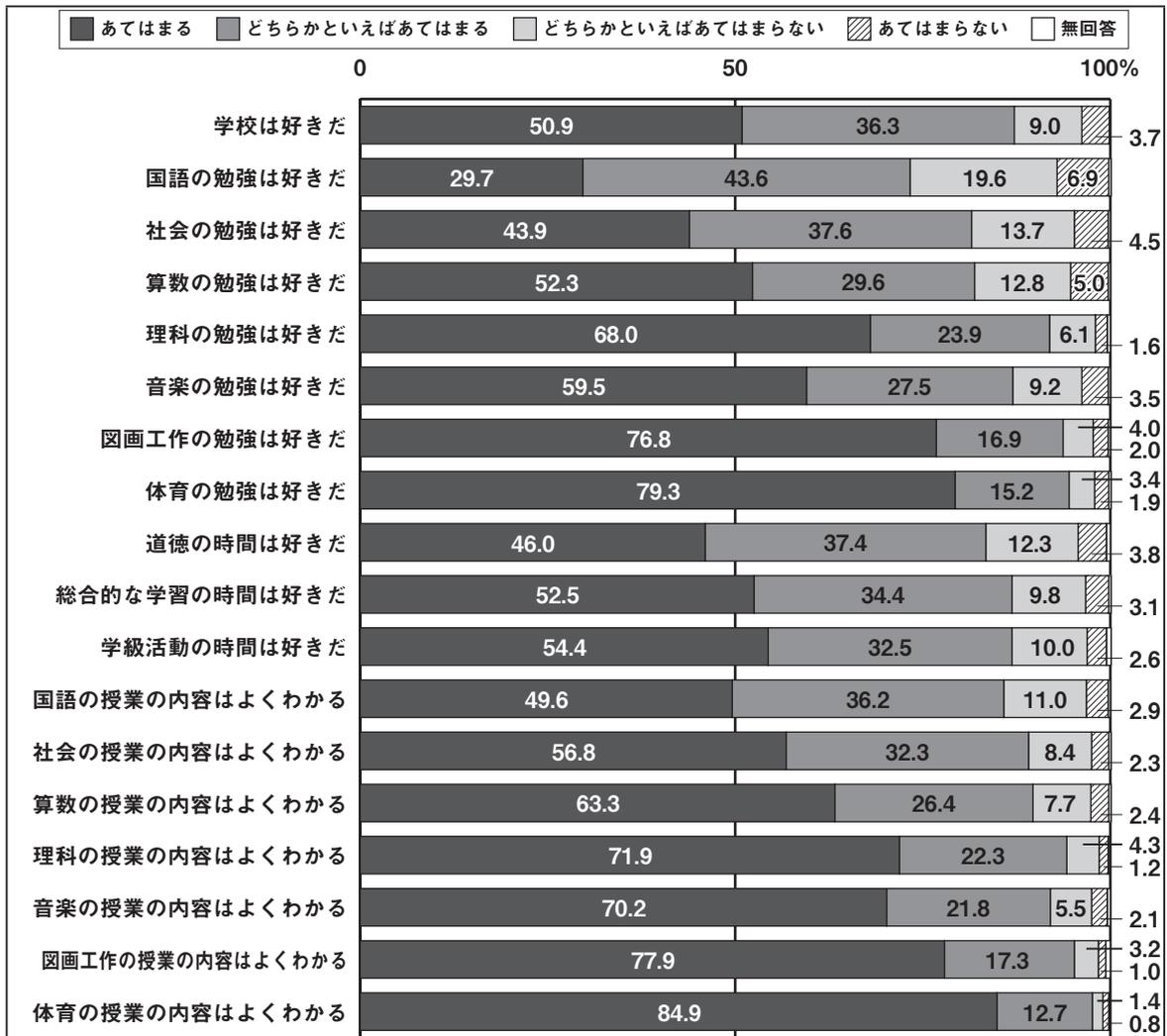
2 質問紙調査結果

※質問紙調査結果については、無回答の割合（数値）は表記していない。

《小学校第4学年》 学校数（児童数）：219校（4,717人）

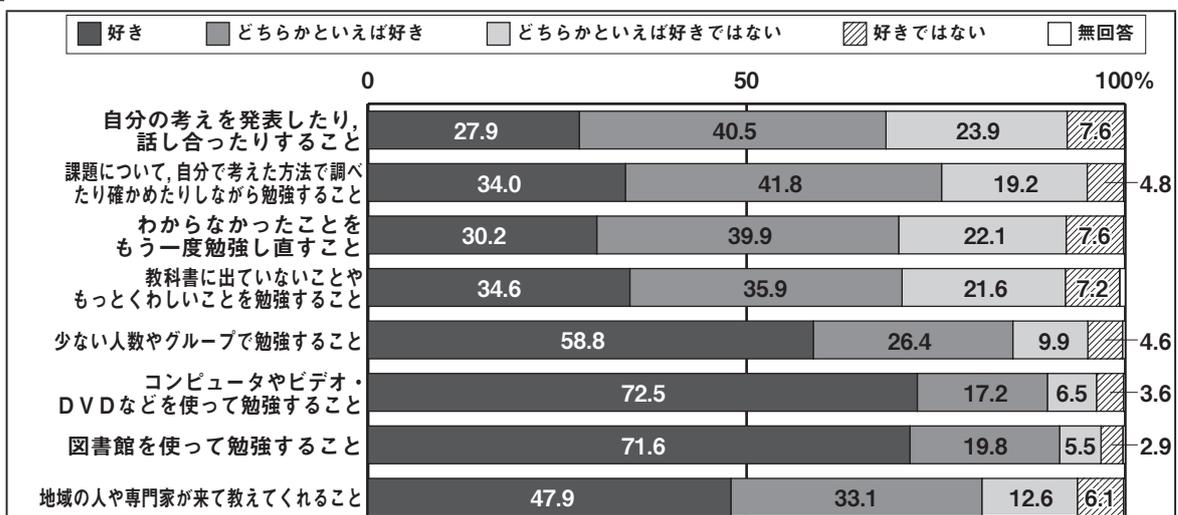
1

あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



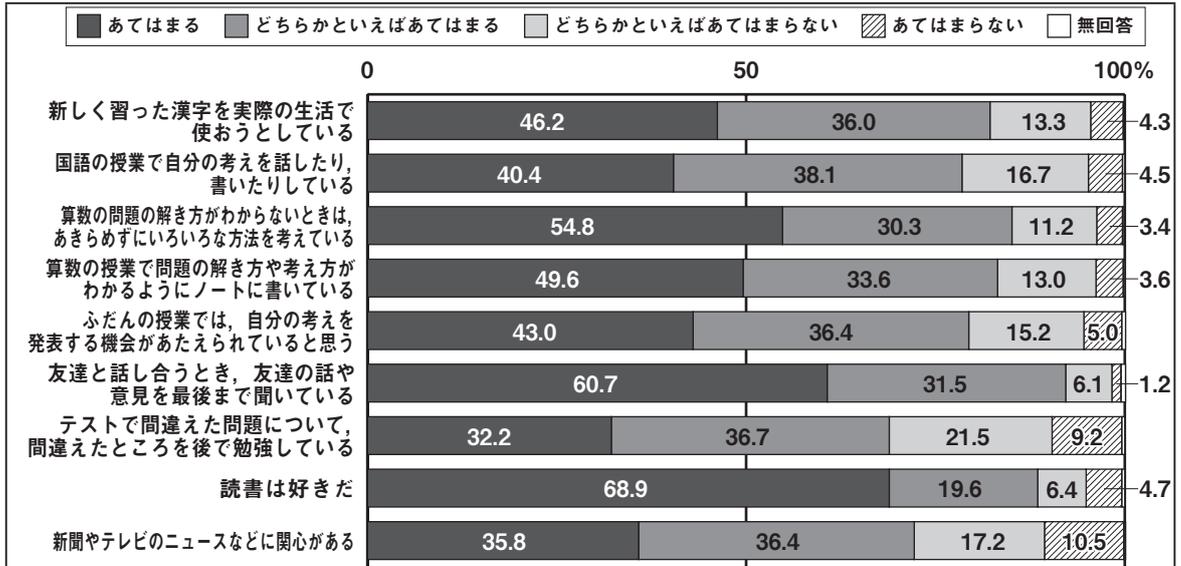
2

あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



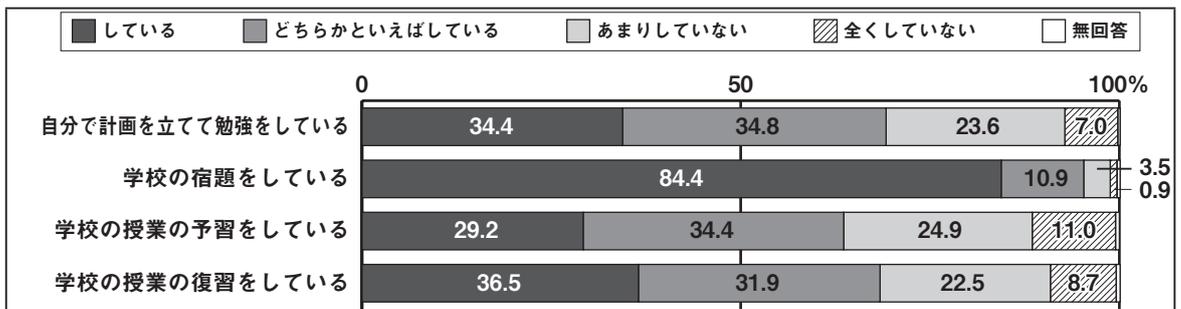
3

次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。



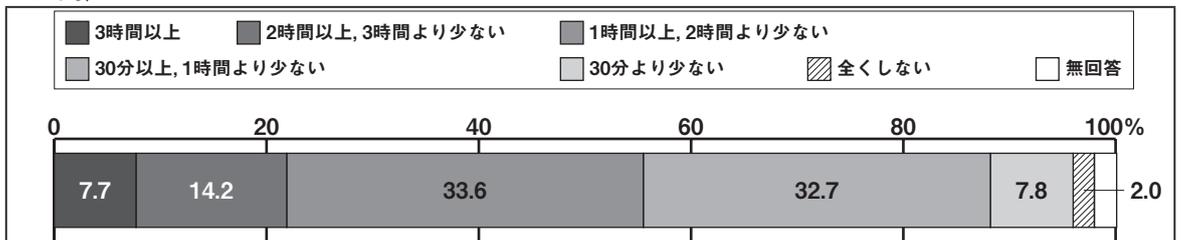
4

あなたは、家で次のようなことをしていますか。



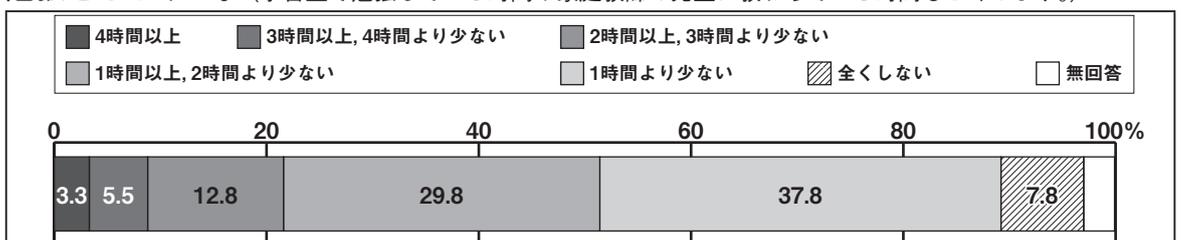
5

あなたは、学校の授業時間以外に、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。）



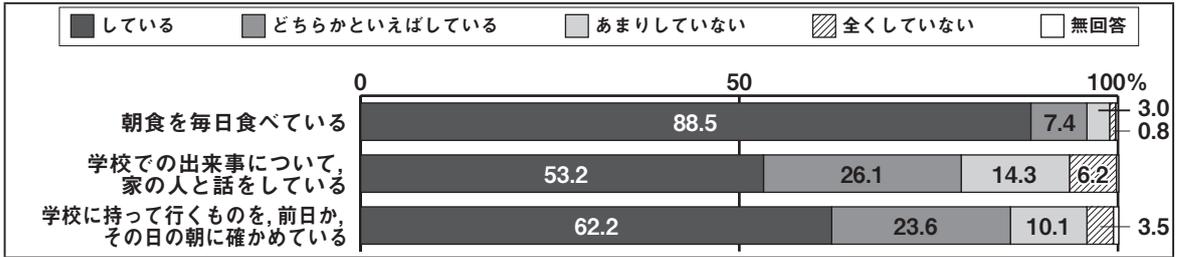
6

あなたは、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。）



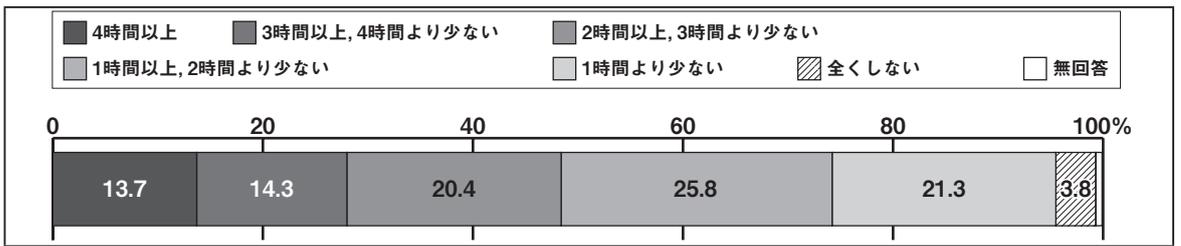
7

あなたは、生活の中で次のようなことをしていますか。

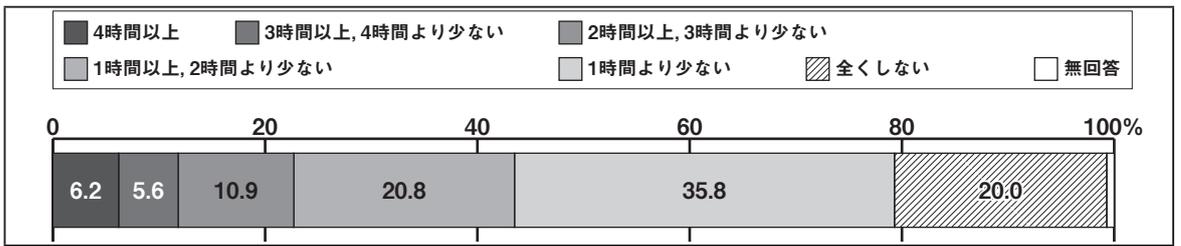


8

(1) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。

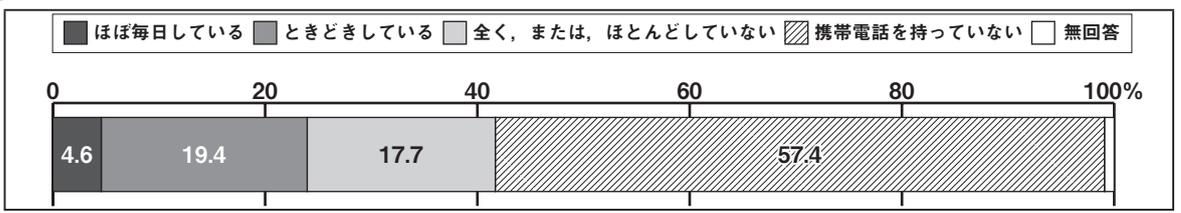


(2) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲームをふくみます。）をしますか。



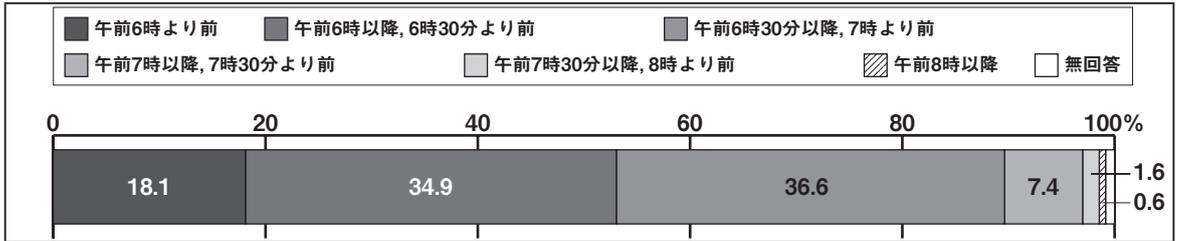
9

あなたは、携帯電話で通話やメールなどをしていますか。

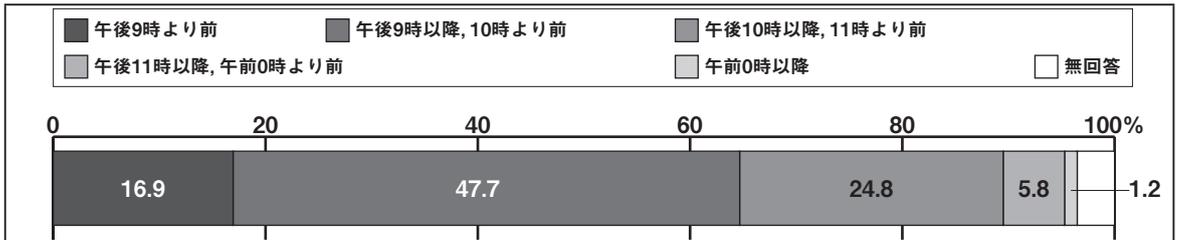


10

(1) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろに起きますか。

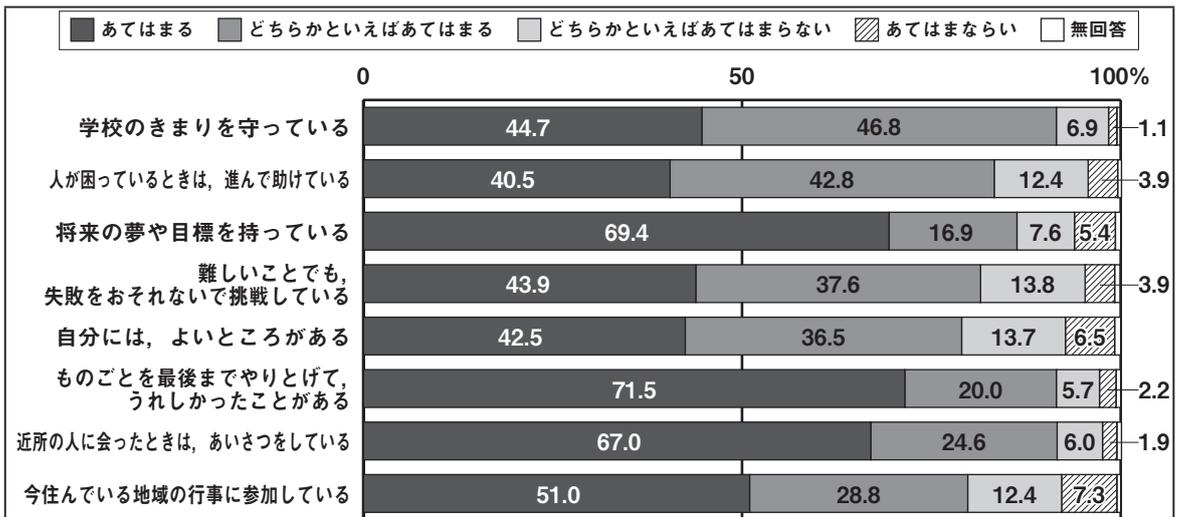


(2) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろにねますか。



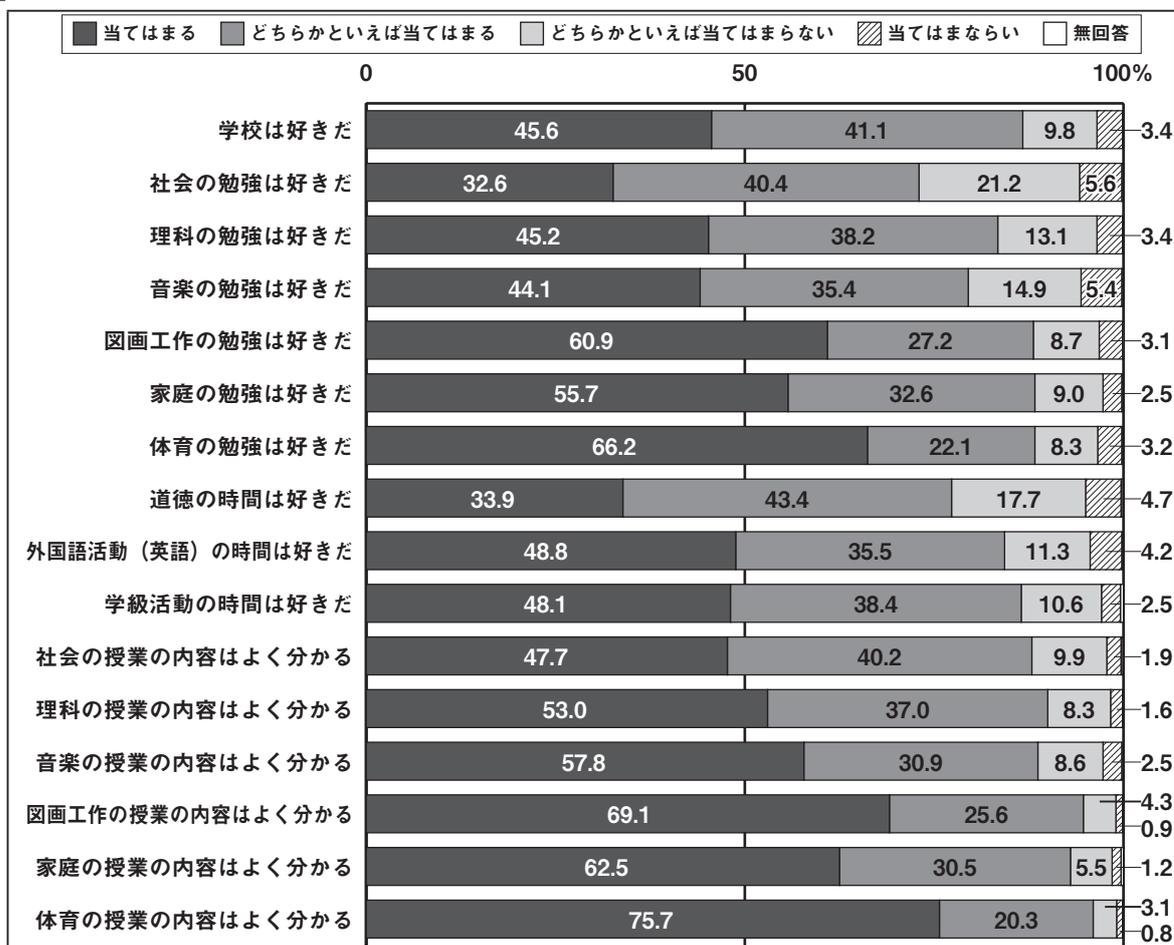
11

次のことは、あなたにどのくらいあてはまりますか。

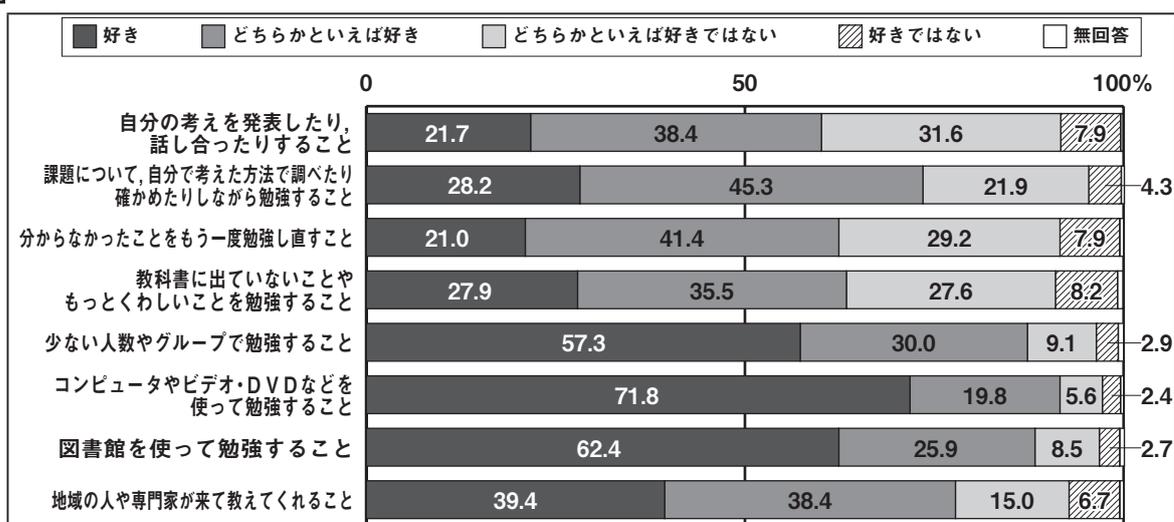


《小学校第6学年》 学校数（児童数）：221校（5,191人）

1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。

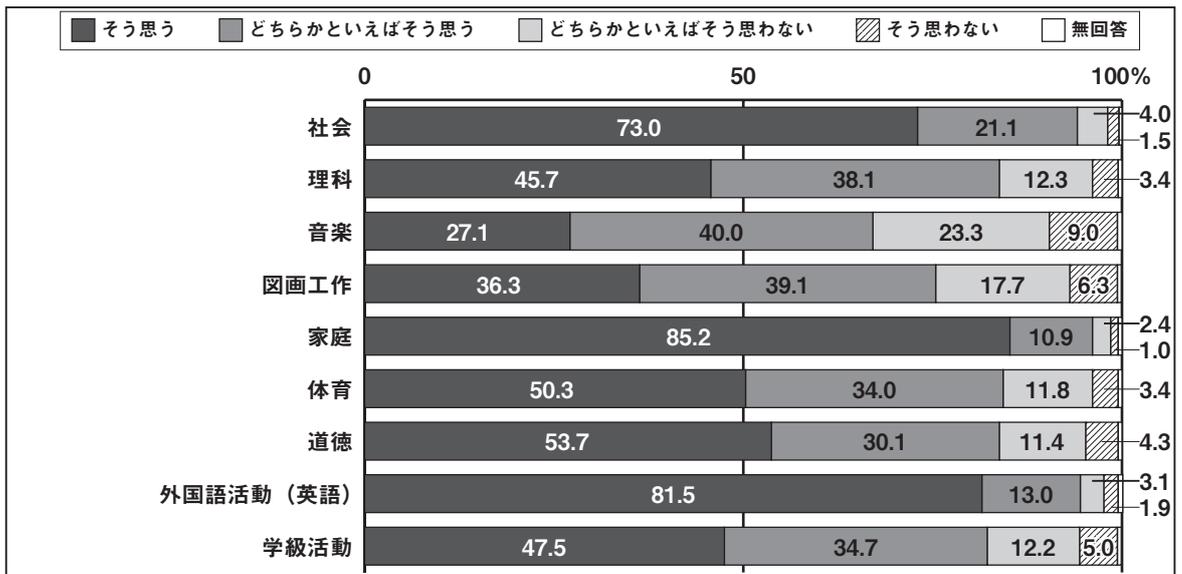


2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



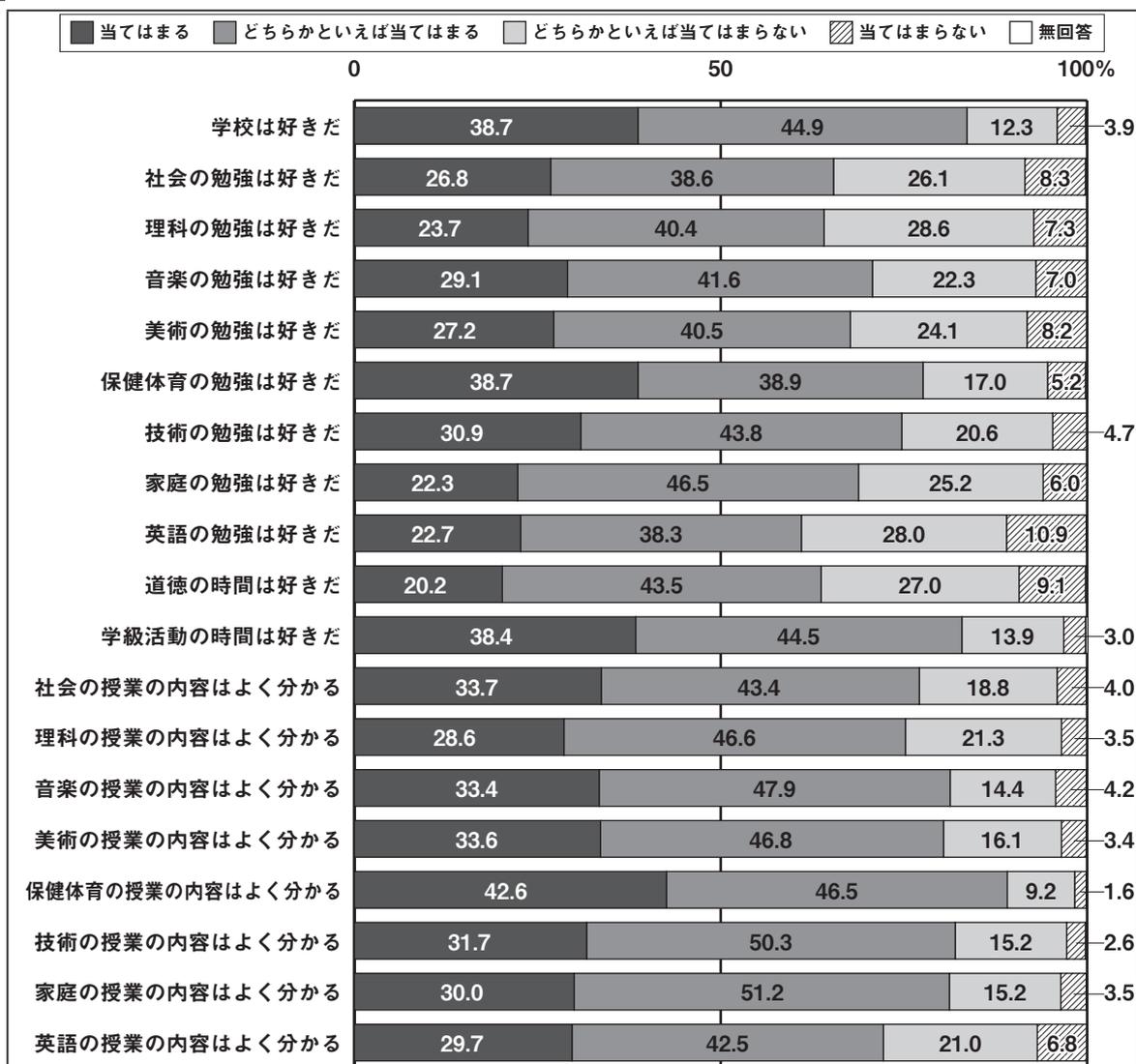
3

あなたは、次の授業で学習したことが、将来の生活を豊かにしたり、社会に出たときに役立ったりすると思いますか。

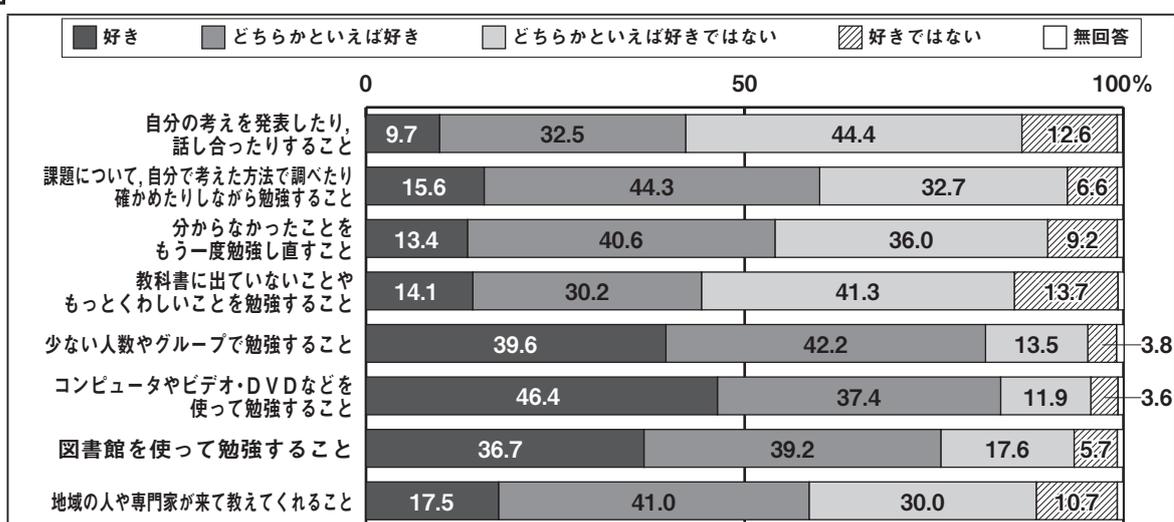


《中学校第3学年》 学校数（生徒数）：87校（2,713人）

1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。

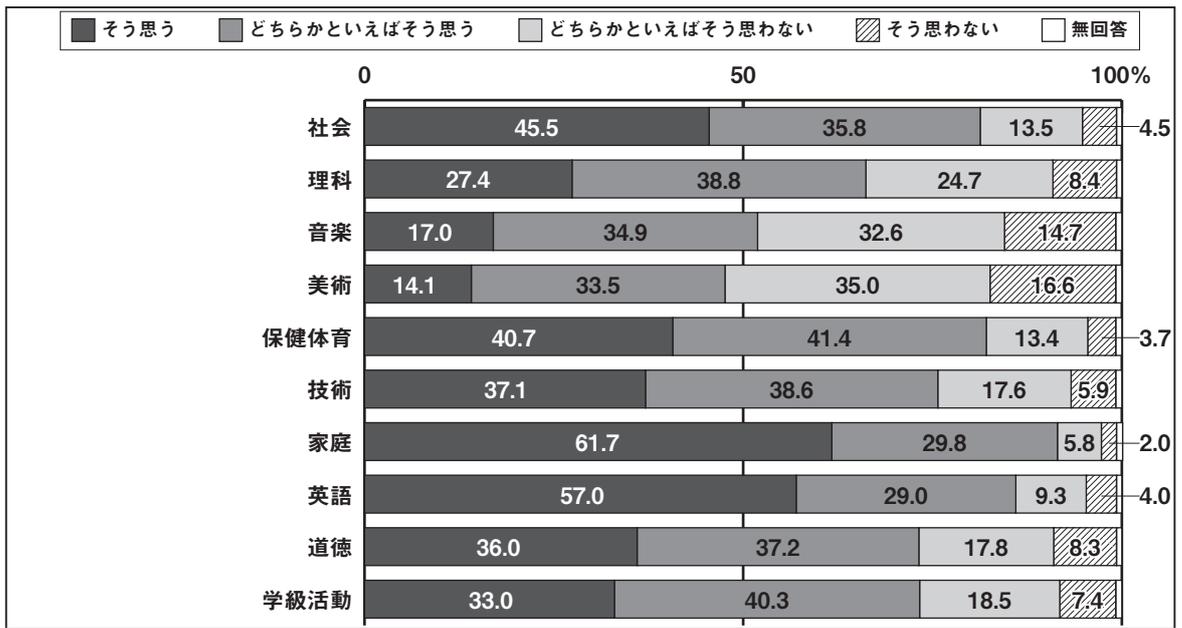


2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



3

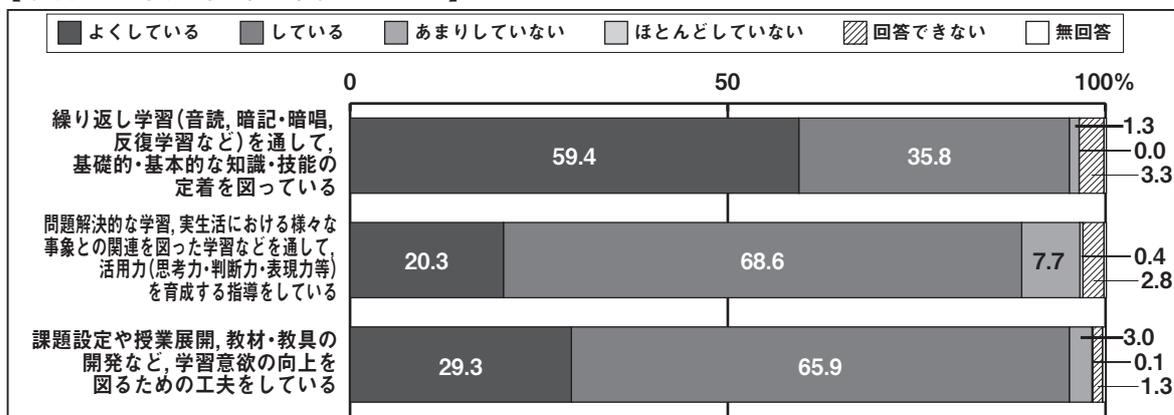
あなたは、次の授業で学習したことが、将来の生活を豊かにしたり、社会に出たときに役立ったりすると思いますか。



《小学校教員》 抽出校数（教員数）：74校（1,113人）

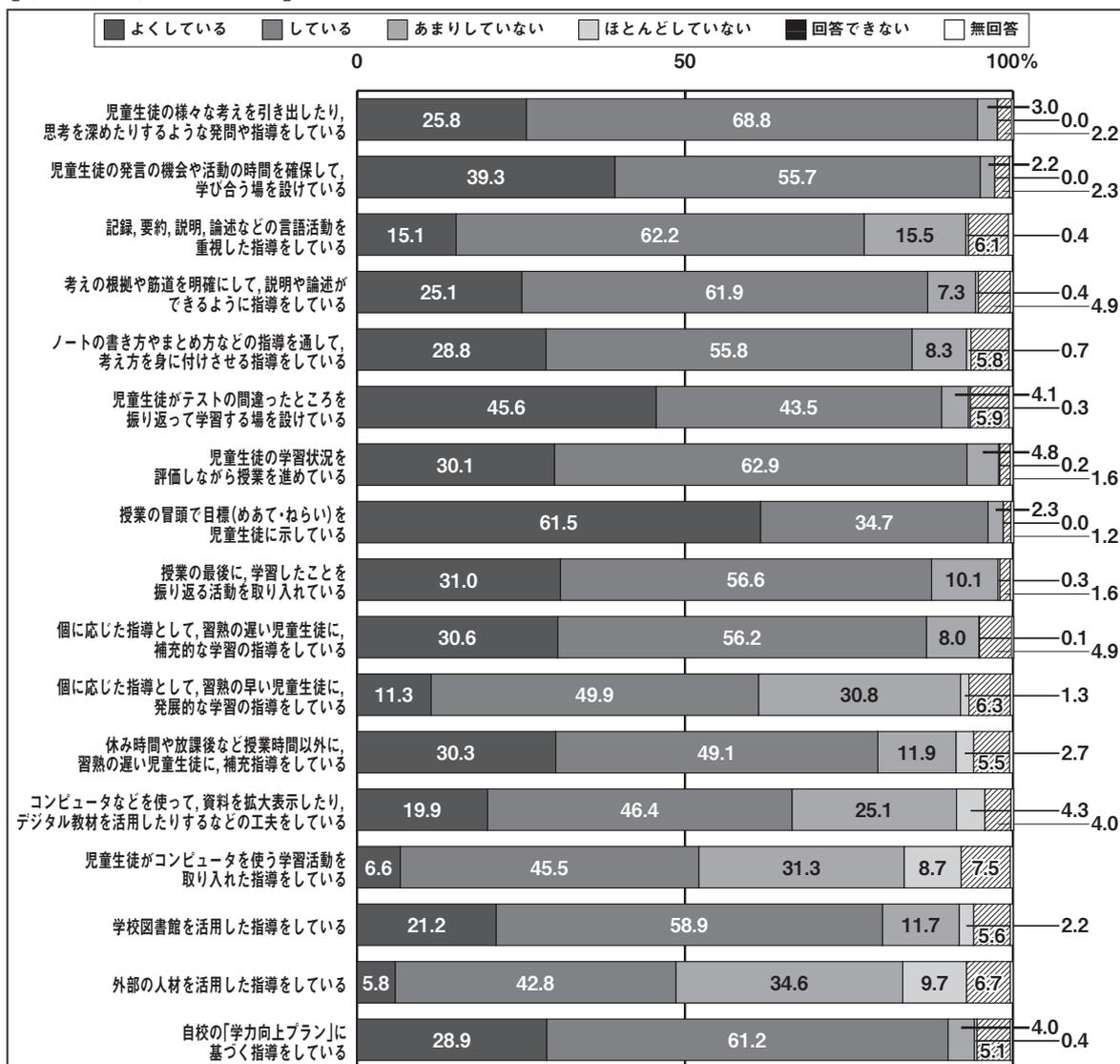
1 次の指導等を、昨年度からどの程度行っていますか。

【学力の重要な要素に関すること】

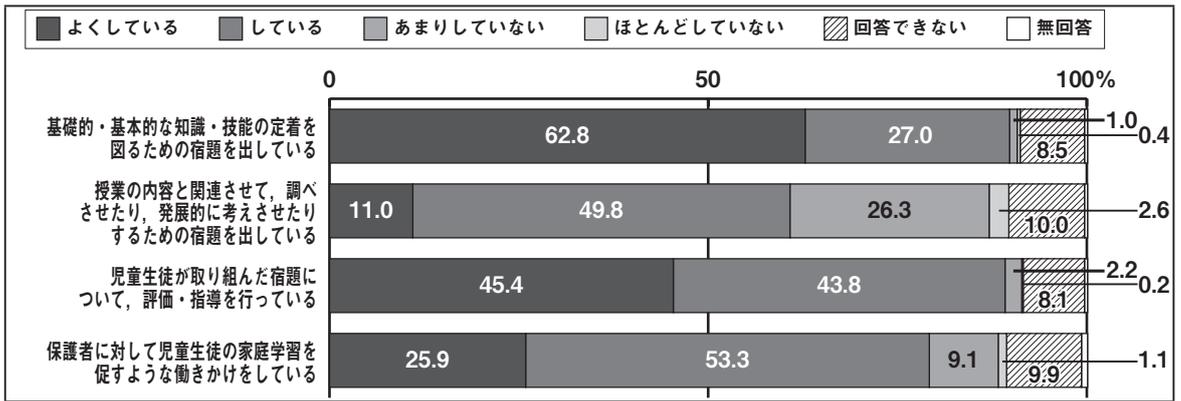


2 次の指導等を、昨年度からどの程度行っていますか。

【教科等に関すること】



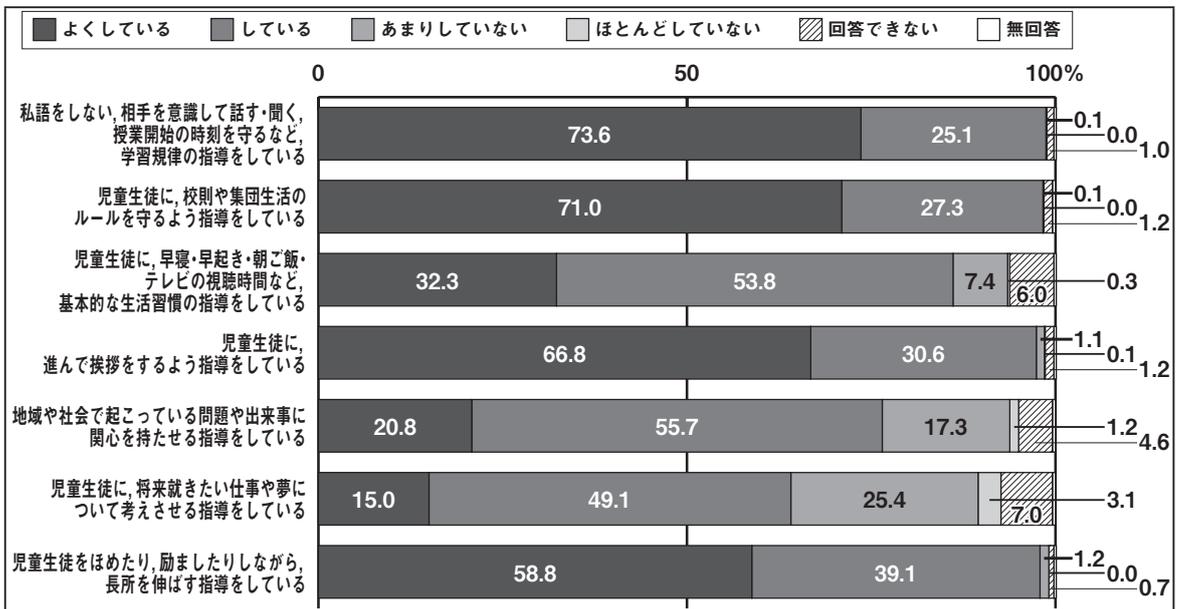
【家庭学習に関すること】



3

次の指導を、昨年度からどの程度行っていますか。

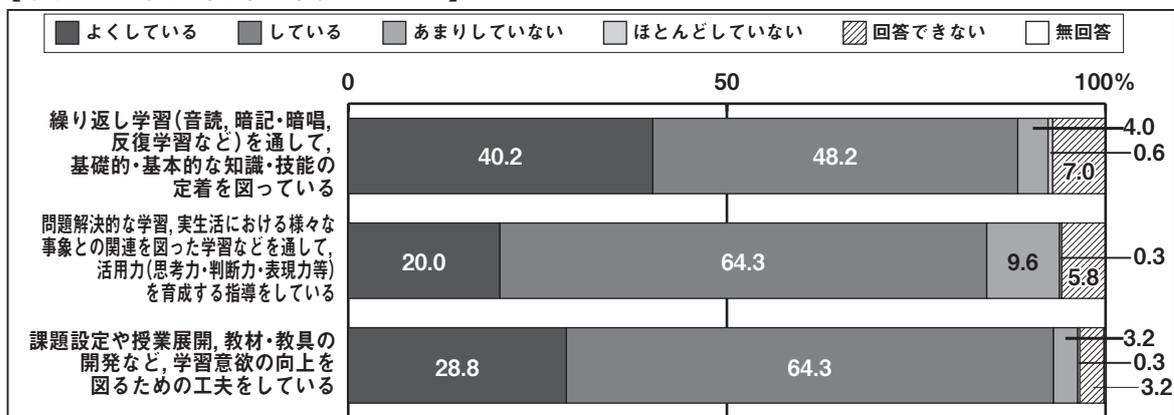
【学習規律等に関すること】



《中学校教員》 抽出校数（教員数）：31校（656人）

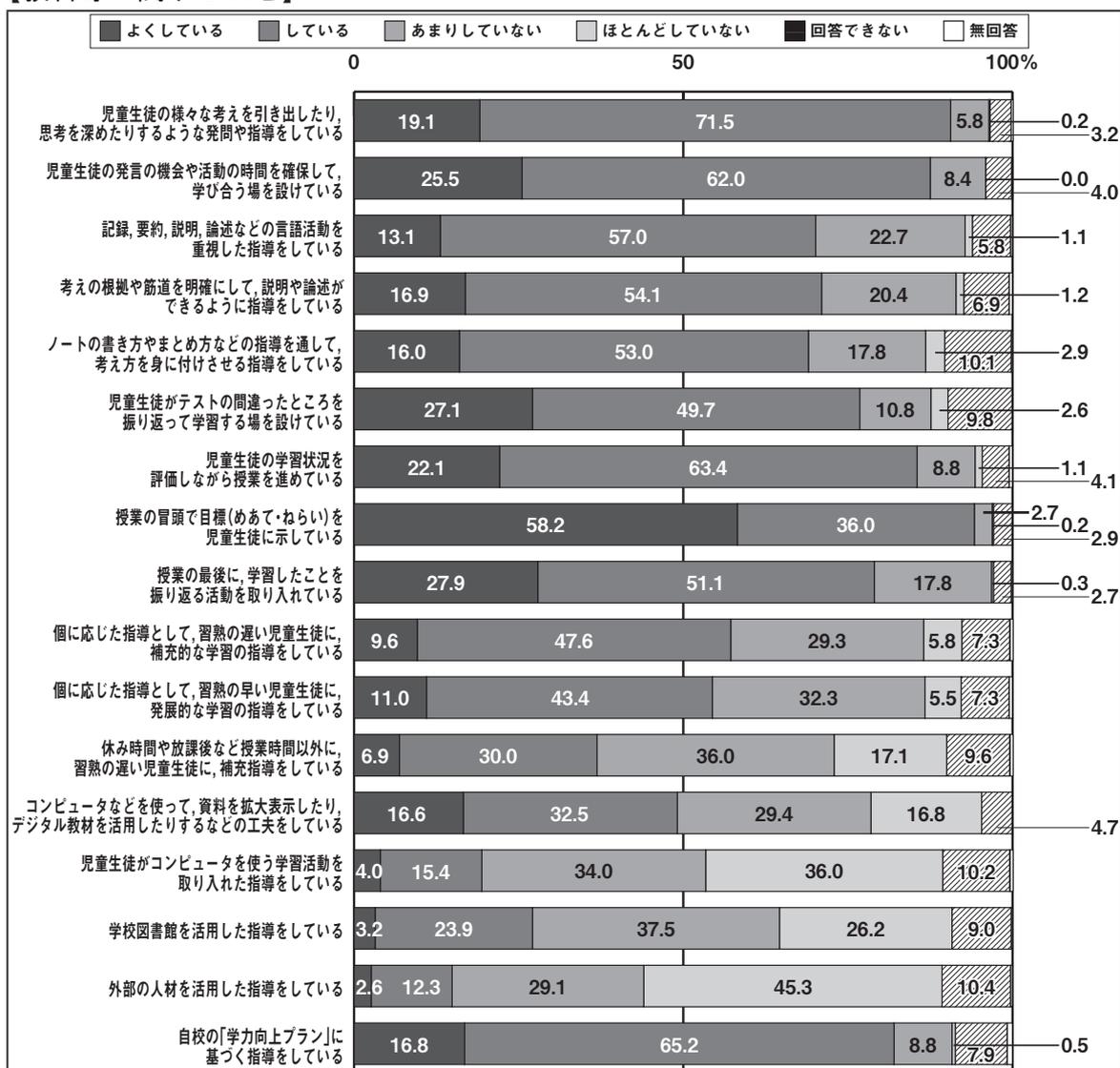
1 次の指導等を、昨年度からどの程度行っていますか。

【学力の重要な要素に関すること】

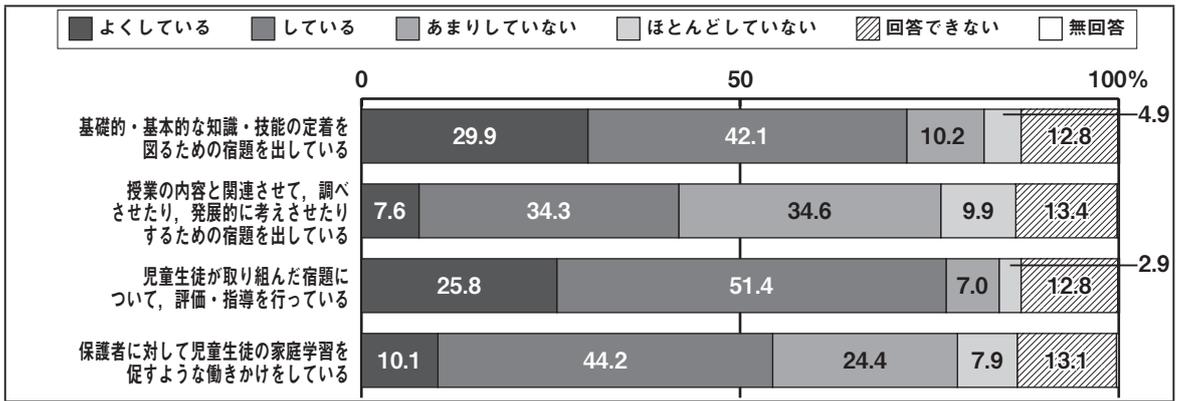


2 次の指導等を、昨年度からどの程度行っていますか。

【教科等に関すること】



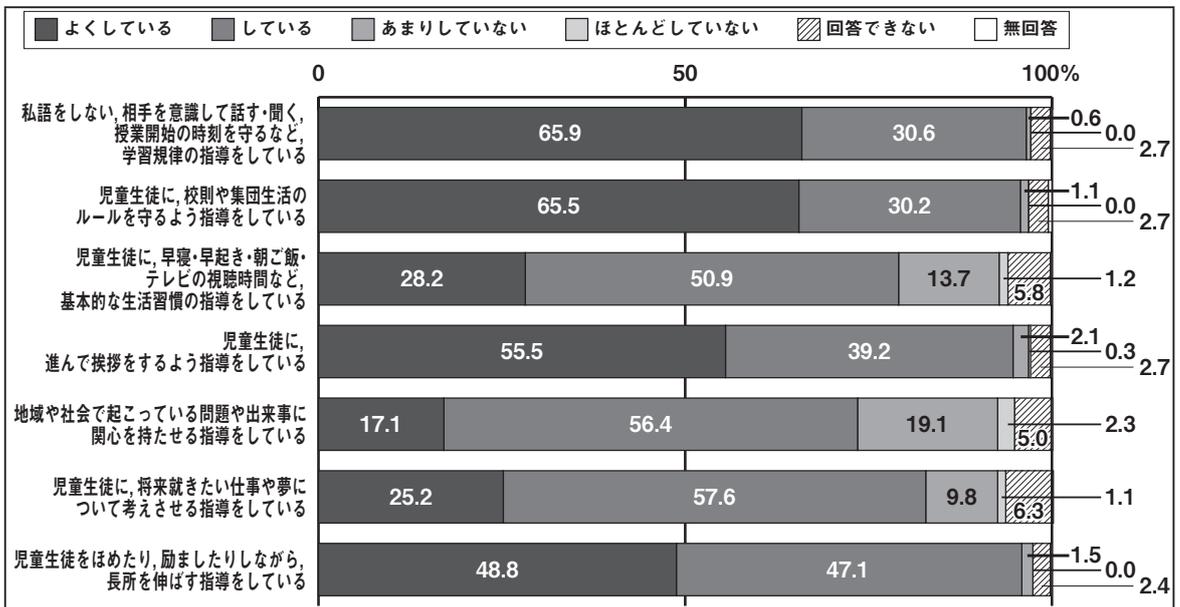
【家庭学習に関すること】



3

次の指導を、昨年度からどの程度行っていますか。

【学習規律等に関すること】



平成 26 年度

「基礎学力調査」—結果の概要—

平成 26 年 7 月発行

石川県教育委員会事務局学校指導課

〒 920-8575 石川県金沢市鞍月 1 丁目 1 番地

TEL.076-225-1827

e-mail : gakusi@pref.ishikawa.lg.jp